

2018筑波大学附属病院基幹救急科専門プログラム:『茨城県内連携次世代型救急専門医養成プログラム』対応地域枠ローテーション

		機構が示す専門医プログラム参加機関									
		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
		初期研修医			後期研修医:筑波大学附属病院レジデント			クリニカルフェロー			
医師修学 資金貸与 6年	筑波大学基幹救急科専門プログラムA	初期研修:地域内	救命センター群Aグループ		地域中核病院群及び関連施設Aグループ	筑波大学	なめがた地域医療センター	←終了			
	筑波大学基幹救急科専門プログラムD	初期研修:地域内	地域中核病院群及び関連施設群Aグループ		救命センター群Aグループ	筑波大学	なめがた地域医療センター	←終了			
	筑波大学基幹救急科専門プログラムH	初期研修:地域内	筑波大学	救命センター群Aグループ(うち3ヶ月関連施設群Aグループ)		なめがた地域医療センター	Aグループ	←終了			
地域枠 制度 9年*2	筑波大学基幹救急科専門プログラムA	初期研修:地域内	救命センター群Aグループ		救命センター群あるいは地域中核病院群/関連施設群Aグループ	筑波大学	AあるいはBグループ	aグループ	aグループ	aグループ	←終了
	筑波大学基幹救急科専門プログラムD	初期研修:地域内	地域中核病院群及び関連施設群Aグループ		救命センター群Aグループ	筑波大学	AあるいはBグループ	aグループ	aグループ	aグループ	←終了
	筑波大学基幹救急科専門プログラムH	初期研修:地域内	筑波大学	救命センター群Bグループ(うち3ヶ月関連施設A/aグループ)		なめがた地域医療センター	A又はaグループ	A又はaグループ	aグループ	aグループ	←終了

- * 筑波大学レジデントを終了するためには少なくとも6か月の大学研修が必要
- * 関連施設群は原則3ヶ月以内とする
- * 時期・大学院に関しては、個別に変更可能
- * ER型救急科専門医後期研修医希望の場合、他科ローテーション可能な病院を再度個別に選定する
- * 7年次以降に1年を限度とする県外研修(県内では研修ができない特殊な技能習得等に限り)も可能。但しその期間は従事義務の期間に算入せず、返還猶予とする。
- * 大学院進学(医学履修)や、国内外留学(医師不足地域内の医療の充実に必要と認められるもの)も可能。但しその期間は従事義務の期間に算入せず、返還猶予とする。

救命センター群	Aグループ	国立病院機構水戸医療センター、水戸済生会総合病院、日立製作所日立総合病院、茨城西南医療センター病院
	Bグループ	筑波メディカルセンター病院、土浦協同病院
地域中核病院群	Aグループ	茨城県立中央病院
	Bグループ	東京医大茨城医療センター
	aグループ	なめがた地域医療センター
関連施設群	Aグループ	ひたちなか総合病院、水戸協同病院
	aグループ	常陸大宮済生会病院

* Aグループ 医師不足地域中核病院※ (※中核病院:臨床研修指定20病院+国立・県立4病院)
aグループ 医師不足地域中小病院 (医師不足地域の上記中核病院以外)
Bグループ 医師不足地域外病院